

研究実施のお知らせ

2019年06月18日 ver.1.0

研究課題名

骨盤領域における MR 拡散強調像の比較

研究の対象となる方

2017年12月から2019年6月までの間に島根大学医学部附属病院で骨盤領域のMRIが撮影された患者様のうち、Echo-planar法での拡散強調像（EPI-DWI）とTurbo-spin echo法での拡散強調像（TSE-DWI）が撮影された患者様

研究の目的・意義

MRI 拡散強調像は拡散のしやすさの差異を画像化し、細胞密度や血流障害による浮腫の程度を定性定量化でき臨床画像に有用な情報をもたらしています。強い傾斜磁場を短時間に1回だけ照射し拡散強調像を得る Echo-planar 法（EPI-DWI）が一般に使用されていますが、ノイズが多く、信号の歪み（artifact）に弱い欠点があります。一方、EPI-DWI に比べ撮影時間が長いですが、やや弱い傾斜磁場を数回かけて拡散強調像を得る Turbo-spin echo 法（TSE-DWI）は、腸管からの動きやガスなどからの信号の歪み（artifact）がある腹部や骨盤領域で利用されることがあります。

空気の影響や骨の形態の影響を受ける頭頸部での TSE-DWI の有用性の報告はありますが、腸管からの動きやガスなどからの信号の歪み（artifact）がある腹部や骨盤領域での TSE-DWI の有用性の報告はなく、腹部骨盤領域での EPI-DWI と比較しての有用性を検討、報告することは TSE-DWI の臨床応用の普及に重要です。

今回、骨盤領域で、両撮像法で DWI を撮影されている患者さんで EPI-DWI と TSE-DWI の画質を比較し、骨盤領域での有用な DWI 撮影法を後方視的に検討します。

研究の方法

2017年12月から2019年6月の間に島根大学医学部附属病院で骨盤領域のMRIを撮影された患者様で、拡散強調像で EPI-DWI と TSE-DWI の両方を撮影された方の情報、画像所見、治療の内容等を解析し、評価致します。研究資料にはカルテから以下の情報などを抽出し使用させていただきますが、匿名化し、個人情報などが漏洩し

ないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 年齢, 性別, 既往歴, 過去の治療歴, 内服歴など
- CT や MRI などの画像検査データ, 手術等記録, 病理組織結果

研究に関するデータ及び関連資料は研究の終了を報告してから少なくとも5年間保管し、その後匿名化した状態で廃棄（消去）します。

研究の期間

2019 年 7 月から 2023 年 3 月 31 日まで

研究組織

この研究は島根大学医学部 附属病院 放射線部が行います。

研究責任者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部 附属病院 放射線部 吉廻 毅

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2020 年 05 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：島根大学医学部 附属病院 放射線部 吉廻 毅

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2285 FAX 0853-20-2289